

第5回 三県知事会議の結果概要

平成25年1月31日

大澤群馬県知事、上田埼玉県知事、泉田新潟県知事は、本日の会議で、これまでの検討成果を踏まえて意見交換を行い、さらに連携を進めることで合意した。

1 合意事項

(1) 空港を活用した相互観光の推進

東京を絡めた三県周遊モデルコースの旅行商品化に向け、海外の旅行博覧会に共同出展し、PRやアンケート等を実施した。また、新潟～東京間の「縦断ゴールデンルート」のモデルコースを作成し、活用について検討を行った。

今後は、「縦断ゴールデンルート」PRのため、海外メディアを招聘し、取材記事を掲載した旅行雑誌等の別冊を作成するなど、三県共同による観光PRを引き続き実施していくこととした。また、北陸新幹線の開通を見据えた魅力ある観光ルートや台湾などでの三県共同PRについて研究検討していくこととした。

(2) 対岸貿易による産業振興の共同研究

中国マーケット開拓につながる貿易の促進に向け、共同出展の対象となる見本市の具体的な候補を検討した結果、3月開催の上海華東交易会での三県共同出展を決定した。

今後は、北東アジアマーケット開拓に向けたビジネスモデルのセミナー開催や三国トンネルの早期整備に向けた関係機関への働きかけを行っていくこととした。

また、本テーマに関連して、三県商工会議所連合会代表との意見交換会において、三県商工会議所連合会同士による定期的な交流会の開催など今後の連携が合意された。

(3) 生活サポート産業振興に関する共同研究

埼玉県ニーズ調査の結果を群馬県、新潟県の企業に提供し、一部企業による研究開発の動きに結びつけた。「彩の国ビジネスアリーナ」や「健康ビジネスサミットうおぬま会議」の展示会・商談会に三県が連携の上、参加した。

ニーズ、シーズや成功事例の情報共有が進み、各県開催の展示会・商談会への相互参加も定着するなど、一定の成果を得ることができたため、今後は研究会というスタイルは取らずに各県開催の展示会、商談会への相互参加を進めることとした。

また、製品の開発や販売等のネックとなっている問題点をピックアップし、特区や制度改正による規制緩和を求めていくこととした。

(4) 三県農業系公設試の連携による調査・研究の効率的推進

前回の三県知事会議の合意を踏まえ、三県農業系公設試における連携の方向性を検討した。その結果、今年度から取り組む連携活動として、成果発表会への研究員の相互参加を進め、研究成果の共有化を図った。

今後は、三県で病害虫の発生情報を交換するほか、マイナー作物の病害虫農薬登録、コクチバス駆除推進、畜産臭気対策など、先進県のノウハウ等について情報提供を行うこととした。

また、マツクイムシの被害や鳥獣被害への対策について、次回までに課題整理することとした。

(5) 次世代自動車に関する共同研究

関越自動車道の充電インフラの整備を促進するため、NEXCO東日本に対し、SA、PAへの急速充電器の設置を要請した。また、観光促進と組み合わせたEV利用と充電インフラ設置の促進等を検討した。

これまでの研究において長距離走行モデル地域の形成等については、一定の成果を得ることができた。今後は、設置された充電インフラの利用について検証することとした。

また、国交省が超小型モビリティの普及に取り組むこともあり、特定のエリアにおける電気自動車の利用状況について、調査を行っていくこととした。

(6) 防災協力体制の可能性の共同研究

自主防災組織の相互交流、無線通信の相互運用及び建物の被害認定調査実地研修などを実施した。また、これらの成果も踏まえ、平時と災害時の取組を盛り込んだ防災協定に合意し、本日、調印した。

この共同研究会は今回の協定締結をもって完結するが、今後は、協定に基づく平素の取組や新たな共同研究テーマについて、「連絡会議」において取組を進めることとした。

2 次回は、群馬県主催で開催する。